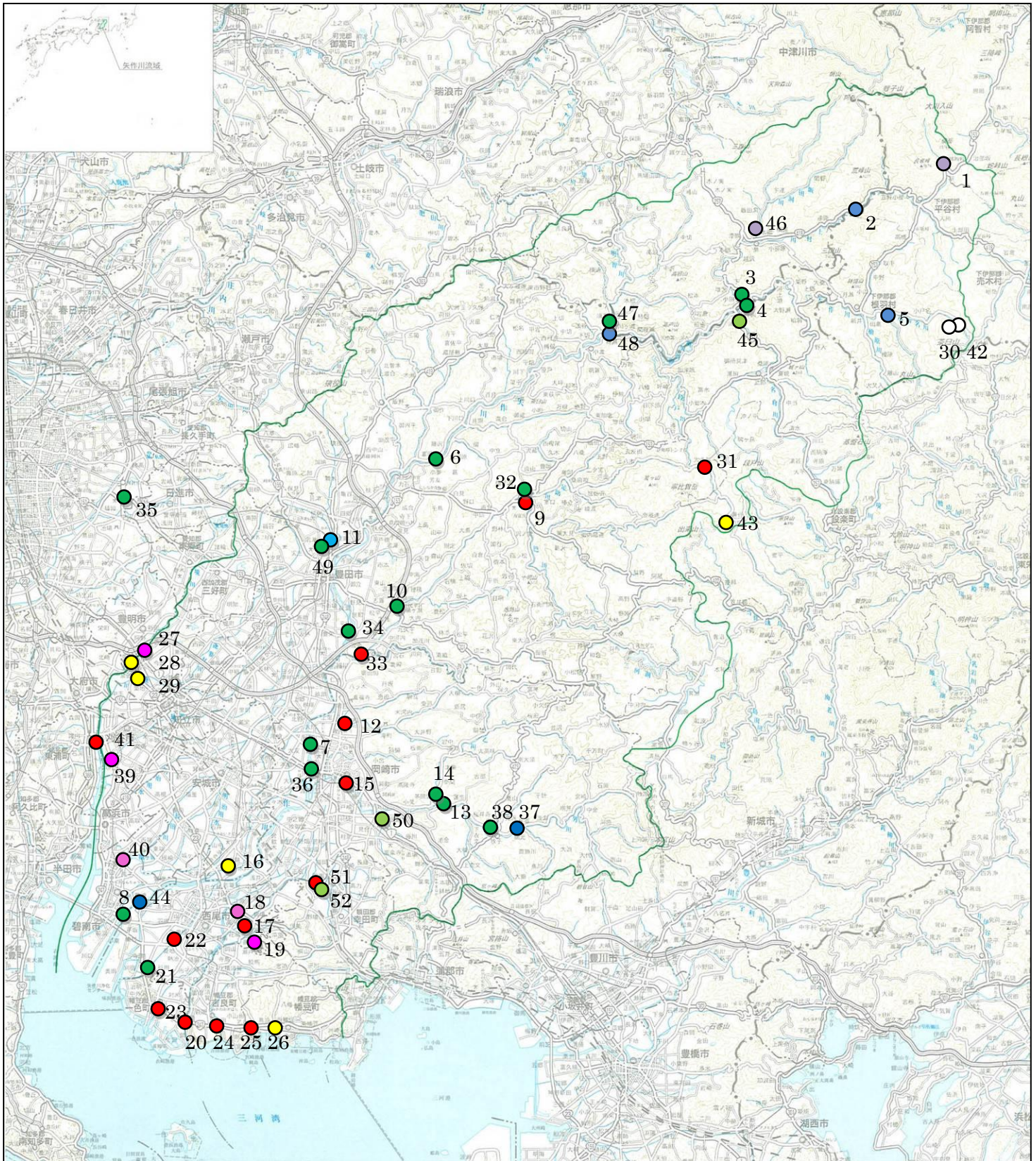


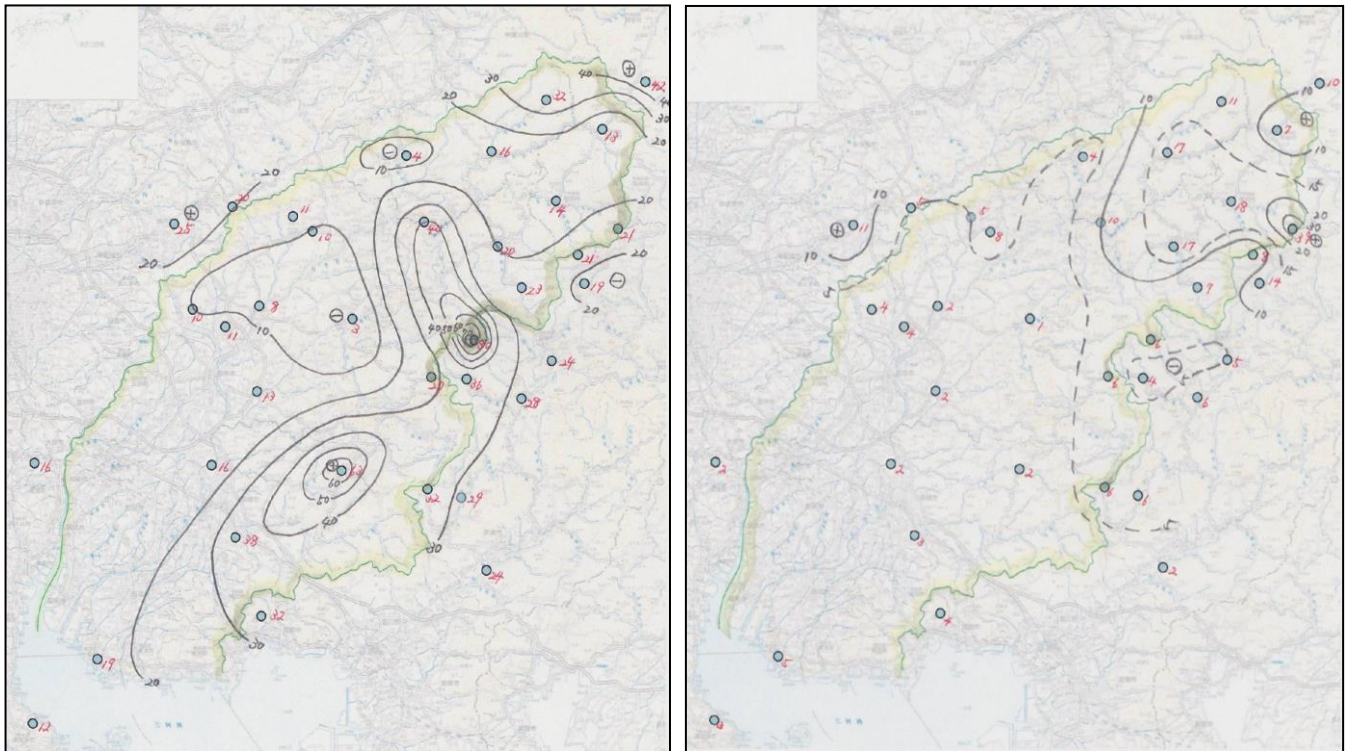
第 11 回身近な水環境の全国一斉調査結果 矢作川水系水環境マップ 2014.6.8 (AM)

(実施日が違う地点 : 5.31 : No27・28・29, 6.6 : No8・21・40, 6.7 : No44, 6.9 : No7・14・23, 6.10 : 10・34・36・37, 6.13 : No16・39・41, 6.19 : 26, 6.20 : 17・18・19・50・51・52)



水質 (有機物汚染指標) : 化学的酸素要求量 COD (単位 mg/l) 凡例

0	1	2	3	4	5	6	7	8以上
○	●	●	●	●	●	●	●	●



a 2014.6.4～8の5日間雨量

b 2014.6.9～13の5日間雨量

(DATA : 気象庁アメダス、国土交通省水文観測、設楽町 IN 百葉箱)

付図1 矢作川水系における一斉調査時期の雨量分布 (単位 : mm)

【解説】身近な水環境の全国一斉調査は、市民グループと河川管理者等が連携して毎年全国一斉に実施されています。当調査は簡単な調査キット（無償配布）を用います。調査結果はマップに表現されて、日頃親しんでいる身近な水環境の様子が分る仕組みです。矢作川環境技術研究会は、国土交通省豊橋河川事務所からの案内を契機に、平成21年度事業に組み入れ2009年度第6回一斉調査に参加し、矢作川水系22地点で行ないました。今回（2014年度第11回）は、会員参加で計52地点で実施しました。水環境マップ（COD）は、今回のCOD測定結果（3回のうち2番目の値）を矢作川流域周辺の地図で表わしたものです。

調査時期の気象と流況：東海地方の梅雨入りが平年よりやや早い6月4日でしたが、太平洋高気圧の張り出しは弱く梅雨前線が不安定な状態でした。矢作川流域周辺も冷たい空気と暖かく湿った空気が入り混じって天気が変わり易く、所々で降雨が発生しました。付図1に梅雨入り以降の5日間雨量を示しました。梅雨入り前5日間は晴天続きでした。4～8日間（a）は、矢作川流域の東部の山地と最上流の北部山岳に20mm以上の雨域があり、中でも乙川上流と段戸川付近が最多雨域でした。特に8日昼過ぎに段戸川上流で約80mmの局地的豪雨が発生しました。9～13日間（b）は、矢作ダムから上流部の山地に10mm以上の雨域があり、中でも茶臼山周辺が最多雨域でした。14日以降はほとんど晴天続きでカラ梅雨傾向でした。よって河川流量は、矢作川上流部が比較的多く降雨で変動した地点もあったこと、中・下流部が取水と水田排水が加わった通年並みの状態、その上潮汐で変動した地点もあったことが今回の特徴でした。

CODの結果：上流部は人工林が多い森林山地で、人口流出と少子高齢化による過疎地域です。CODは3～4mg/lの地点が多く、源流・水源林の溪流河川はほとんど2mg/l以下でした。東部支流は前日の降雨による影響か8mg/l以上の地点が多くありました。段戸川も当日の局地的降雨で上昇しました。東名高速道路付近から以東の丘陵性低山地部は、ゲンジボタルが生息する地域で、平野部の開発と並んで土地の造成、道路等の社会基盤整備で人工改変量が進み、水質保全状況を注目されています。各支川のCODはほとんど4～5mg/lでした。値がやや高い地点は降雨や生活・水田排水の負荷が考えられます。国道1号・東海道新幹線

以南で知立バイパス沿いの支流・小河川は、台地を開析して流下しています。これらの河川は自己流量が少なく、デルタ低地まで農業・工業・上水の用水網が発達し、土地の人工改変量もそれらの排水比率が相対的に多いことが挙げられます。これらの COD は 6~8mg/l 以上で、毎年やや高く変動しています。西方、衣浦湾奥の境川水系の河川下流の値も比較的高く、毎年の傾向となっています。さらに三河湾沿岸の支流・小河川も農業排水があり、今回は値が上がった地点が多く、植物プランクトンの増殖、潮汐等に伴う底泥巻き揚げの要因も見られました。下流や三河湾沿岸の河川の底質や水辺環境も水質に関係しているようです。

このように、一斉調査によって流域の水質動態が視覚化でき、比較して今後の活動に繋げることができま
す。ご協力頂いた会員の皆様と主催者（全国水環境マップ実行委員会）に感謝の意を表します。

表 1 調査地点一覧（2014 年度）

No.	河川・調査地点	No.	河川・調査地点
1	矢作川源流 柳川 源流の碑	27	境川水系逢妻川 10K2 付近 R1 逢妻大橋
2	〃 上流 上村川 明治用水水源林の明林橋	28	境川水系境川 8K2 付近知立バイパス橋の下流
3	〃 上流 上村川下流（小田子地内）せきれい橋	29	境川水系逢妻川 7K0 付近知立バイパス橋の下流
4	〃 上流 根羽川下流（小田子地内）国界橋	30	根羽川上流・小戸名川、矢作川水源の森の沢
5	〃 上流 根羽川上流（根羽小学校付近）平瀬橋	31	矢作川上流 段戸川上流（地内）大橋
6	〃 上流 新富国橋（右岸側） 豊田市富田町,国付町	32	足助川下流 落合橋 豊田市足助町蔵ノ前
7	〃 中流 日名橋 岡崎市日名西町	33	郡界川 郡界橋 豊田市・岡崎市境（巴川合流前）
8	〃 下流 棚尾橋 西尾市小柳町	34	矢作川中流 竜宮橋（左岸側）豊田市竜宮町・野見町境
9	巴川上流 巴橋（右岸側） 豊田市足助,香嵐溪	35	天白川水系天白川 天白大橋 名古屋市天白区平針 1
10	〃 下流 松平橋 豊田市松平	36	矢作川中流 「矢作橋」（国道 1 号）左岸
11	籠川 籠川橋 豊田市伊保町	37	男川上流 「豊橋」 片寄の落差工の下流
12	青木川 青木橋 岡崎市青木町	38	男川中流 夏山川合流地点より 100m 下流
13	男川 学校橋 岡崎市生平町	39	猿渡川下流 県道 296 号、「巡見橋」
14	乙川上流 築野橋 岡崎市茅原沢町	40	高浜川（油ヶ淵流末） 県道 295 号、「明治橋」
15	〃 下流 明代橋 岡崎市菅生町	41	境川下流 県道 51 号、「平成大橋」
16	鹿乗川 北山橋 安城市野寺町	42	根羽川上流・小戸名川、矢作川源流の碑の下流（沢）
17	広田川 岡島橋 安城市駒場町の駒場橋下流	43	段戸川上流 段戸裏谷原生林の沢（原生林の出口）
18	安藤川 江原小橋 西尾市江原町	44	矢作川下流 米津橋（右岸側） 西尾市米津町
19	須美川 宮下橋 西尾市善明町	45	名倉川下流 押山大滝 豊田市川手町
20	矢作古川 松大橋 一色町松木島	46	上村川水系飯田洞川下流 中広橋 恵那市上矢作町本郷
21	北浜川 刈宿橋 西尾市刈宿町	47	矢作川上流 奥矢作橋 岐阜・愛知県境（第二ダム下流）
22	二の沢川 白妙橋 西尾市山下町,会館北	48	明智川下流 川ヶ渡橋 豊田市須淵町・恵那市川ヶ渡境
23	一色排水路 間浜橋 一色町藤江	49	籠川水系伊保川下流 向山橋 豊田市伊保町
24	矢崎川 吉田大橋 吉良町吉田	50	乙川水系山綱川下流 美岡橋 岡崎市美合町・岡町境
25	鳥羽川 鳥羽橋 幡豆町鳥羽	51	広田川中流 中吉橋 額田郡幸田町境
26	八幡川 新後田橋 幡豆町西幡豆	52	広田川中流 維新橋 No.51 の 1 つ上流の橋

参加会員（会社）一覧（順不同）

稲武土建(株)、エヌエス環境(株)名古屋支店、関興業(株)、太啓建設(株)、成瀬建設(株)、柴田興業(株)、小原建設(株)、(株)安藤・間 名古屋支店、佐藤工業(株)名古屋支店、田中建設興業(株)、徳倉建設(株)、長坂建設興業(株)、鹿島建設(株)中部支店、(株)近藤組、大成建設(株)名古屋支店、(株)竹中土木名古屋支店、山旺建設(株)、(株)太陽機構、矢環研事務局（計 18 社+事務局、小学生以下 4 人を含む 36 人にご協力いただきました。）